



**天元台高原 (米沢市)** 8月11日は山の日です。やまがた百名山のうち、置賜地域には26座があり、西吾妻山の天元台高原などでは、貴重な高山植物が観られます。澄んだ空気を吸い込みながら、トレッキングを楽しみませんか？ (地域産業経済課観光振興室)

### 特集

## 若手農業者が中学校へ！ Agri Teacher派遣事業



や、作物を育てる苦労や喜びなどを語り、子ども達は真剣に耳を傾けていました。

生徒からは、「農業は大変というイメージだったが、達成感や喜びがあると知った」、「農業から学ぶことの多さに驚いた」、「生きるために必要な食べ物を育てているのすごい」などの感想が寄せられ、農業や食の大切さについて理解を深めてもらうことができました。派遣期間は来年1月末までで、随時申請を受け付けています。

置賜地域で活躍する若手農業者を「Agri Teacher (アグリ ティーチャー)」として中学校に派遣し、子ども達に農業の魅力を伝える事業がスタートしました。農業の担い手を育成するため、置賜農業振興協議会(県、市町、JA等で構成)が初めて実施するものです。

6月22日、米沢市立第五中学校において、本事業を活用した初めての授業がありました。米沢市でソバや野菜などの自然栽培に取り組む千葉陽平さんが講師となり、農業を始めたきっかけ



講演後、各クラスで意見交換

### ★ 実施校募集中！ ★

PTA行事や食育活動など幅広い場面でご利用ください！



講師は置賜地域の7個人、4団体「おきたま食の応援団ホームページ」で講師をご紹介します。

<http://yamagata-okitama-shoku.net/images/pdf/agri-teachers.pdf>



☎ 農業振興課 0238-26-6051

## トピックス 知事のいきいき企業訪問・ほのぼの訪問・地域創生ミーティング ☎ 総務課 0238-26-6006

7月20日、「知事のいきいき企業訪問」、「知事のほのぼの訪問」及び「知事と若者の地域創生ミーティング」が米沢市で行われました。

### 知事のいきいき企業訪問

山形大学有機材料システムフロンティアセンターを訪問しました。同センターでは、有機材料を核に異分野融合と産学連携の国際的な拠点として技術革新に取り組んでおり、ゲル材料の3Dプリンティング技術や軽量ロボット開発関連技術の説明を受けた吉村知事からも感嘆の声が聞かれました。

山形大学古川教授から説明を受ける吉村知事



### 知事のほのぼの訪問



上郷地区の皆さまと

上郷コミュニティセンターにて、介護予防体操に元気に取り組む「上郷地区100歳体操」の方々と交流しました。知事も一緒に体験した「タンタンタッチ体操」は、米沢生まれの体操で県も推奨しており、健康長寿日本一の県づくりにつながっていくことが期待されます。

### 知事と若者の地域創生ミーティング

ナセBAで行われ、11名の若者が参加しました。参加者からは福祉、芸術文化、観光、教育、交流、商業、環境など幅広い分野から米沢の発展を願う提案や意見が出されました。米沢市の中川市長とともに発表を聞いた知事からは、各参加者のアイデアの「相乗効果」を期待しエールが送られました。



ミーティングの様子

7月18日、置賜総合開発協議会の委員である置賜地域の3市5町の首長、議長が県庁を訪れ、会長（中川米沢市長）から吉村知事に対し、置賜総合開発協議会としての重要事業の要望書を手渡ししました。

置賜総合開発協議会は、置賜地域の3市5町で構成。昭和34年に設立され、地域の総合発展に必要な

事業を行っている団体です。

当日は、要望35項目のうち「鉄道交通網の輸送改善及び充実について」、「新潟山形南部連絡道路の整備促進について」（仮称）高島スマートインターチェンジ整備事業の推進について」の3点に絞った形で協議会側が説明。それに対し、吉村知事は1つ1つ丁寧に回答しました。



中川会長から要望書を受け取る吉村知事

## 事業報告 地域議員協議会を開催

☎総務課 0238-26-6006

置賜地域における課題や施策展開に関する調査・審議を行う平成30年度第1回置賜地域議員協議会が、管内から選出された8名の県議会議員の出席のもと、7月19日、置賜総合支庁で開催されました。

審議では、まず、清野支庁長から、管内の経済動向及び雇用情勢、農作物の生育状況、観光振興の取り組み状況、高速道路及び主要道路の整備状況、吉野川等災害復興事業の進捗状況等について説明しました。

その後の質疑では、福島県での東京オリンピック競技開催を踏まえた観光誘客、定住自立圏構想と地方創生の取り組みとの関連、洪水・土砂災害対策及び支障木対策の状況、医療的ケア児の現状と受入れ環境、米沢市立病院建設に伴う道路整備の見通し、国道287号の整備促進と予算確保、県境トンネルを含む鉄道の機能強化に向けた運動展開など、県政全般について活発な議論が交わされました。

審議終了後には、東北中央自動車

道南陽高島～山形上山間の整備状況について視察を行いました。

第2回の協議会は11月中旬に開催される予定となっています。

審議の状況



現地視察の様子

## 事業報告 ぼくらのフラワー長井線 アートプロジェクト企画会議 ☎総務課連携支援室 0238-26-6021

置賜文化フォーラムでは、文化芸術活動の企画力向上をテーマとして置賜地域を舞台とするアートイベントを有志で企画・制作する講座を実施しています。今年度の会場となるのは、今年10月で開業30周年を迎えるフラワー長井線の車両や駅舎です。

この度、どんなアートイベントをするのかアイデアを出し合いプロジェクトの内容を決定する企画会議を、17名の参加者により6月30日に長井市の山

形鉄道（株）本社で開催しました。

昨年度に引き続き、講師に「みちのおくの芸術祭 山形ビエンナーレ」や「ひじおりの灯」などの地域密着型アートプロジェクトを手がけてきた東北芸術工科大学の宮本武典教授をお迎えし、実際に列車に乗り駅舎を巡るフィールドワークを交えながら参加者全員でプロジェクトの内容を話し合った結果、「手紙」をテーマにしたアートイベントを開催することに決定しました！

今後、具体的な内容や展示の方法等を検討しながら、秋のイベント開催に向けてプロジェクトを進めていきますので、みなさんどうぞご期待ください。



## 事業報告 「おきラボ」大学生によるフィールドワークを開催！ ☎総務課連携支援室 0238-26-6021



おきたま元気創造ラボ（おきラボ）置賜暮らしの魅力再発見事業班が企画した「地域の魅力再発見！大学生まち歩き in 高島町」が7月8日に開催されました。

おきラボコアメンバーや高島町の若手職員の案内のもと、大学生には高島町内を4コースに分かれて、各地区で活躍しているまちの方々の話をお聞きたり、名所めぐりながら高島町の魅力を発見してもらいました。

まち歩きの後には、心に残った場面を写した写真を発表する形でワークショップを行いました。その中で参加した大学生からは、「次は、自分たちが地域を守り、担い手になっていかなければならない！」といった熱い思いが語られました。



ワークショップの様子



「おきたま元気創造ラボ」のフェイスブック

<https://www.facebook.com/okitamalabo/>



6月29日、南陽市小岩沢地区で不法投棄場所の原状回復作業を行いました。地区住民、地元の廃棄物処理業者、建設業者、自治体職員など計19名が参加し、粗大ごみや家庭ごみ、廃家電、廃タイヤなど約2tを回収しました。不法投棄場所は山林の斜面であり、30℃を超える暑い中での大変な作業ではありましたが、皆様のご協力により、無事原状回復されました。

不法投棄は「しない」「させない」「許さない」を合言葉に、これからも地域みんなの力で、きれいな置賜を守っていきましょう！



事業報告 オールおきたま人材確保キックオフイベント

若者の県内定着・回帰を進めるため、6月28日に米沢市の伝国の杜で約100人が出席して、産学官金労言連携の組織「オールおきたま人材確保対策部会」設立に向けたキックオフイベントを開催しました。

イベントではまず、人口推移や学生の進学状況を交えて地域の現状を説明。問題意識の共有化を図ったうえで、

県若者就職支援センターの小坂岳雄本部長が「おきたまで働く魅力とは」と題して講演、製造業・建設業・医療福祉・農業・地域づくりの分野で活躍する若者から、地元に対する熱い想いを発表いただきました。最後に若者の人材流出に歯止めをかけるため、参加者全員でオールおきたまで思いをひとつにして、一人でも多くの若者に地元定着・

回帰を促し、地域に若者の力を取りもどす取組を進めることを宣言しました。



事業報告 「万世大路を歩く会」を開催

明治の初期、米沢・福島間の交流を便利にし、山形県と福島県が共に発展するため、現国道13号の前身である『万世大路』が整備されました。万世大路には、明治に造られた隧道と昭和に造られた隧道が今も並んで残っており、土木建造物の遺構を身近に見て感じることができます。

この万世大路を体感するため、米沢市や福島市等で開催している一般の

方を対象とした会とは別に、山形県と福島県の行政関係職員を対象とした「万世大路を歩く会」を7月7日に実施しました。

当日は、小雨交じりの天候でしたが、51名が参加し、万世大路を歩きました。先人が造り、通った道路・隧道を見て、体感し、当時の土木技術と苦労を感じるとともに、現在の技術力の向上を実感しながら歩きました。

参加した方々のご協力により、けがも無く成功裏に終了することができました。



栗子隧道前にて

シリーズ

あい 愛ベさあいべ!

第6回

◆えごまほっと

フラワーほっと一番の人気商品で利用者さんと心を込めて手作りの、えごまがたくさん入ったクッキーです。

えごまには、必須脂肪酸のα-リノレン酸が含まれていて、高血圧・認知症予防、美肌・ダイエットなどに効果があります。是非一度ご賞味ください。

税込 150円

<販売場所>

- ・フラワーほっと
- ・道の駅川のみなと長井
- ・ふれあいショップ愛ベ長井
- ・長井駅



フラワーほっと (就労継続支援B型事業所)

フラワーほっとは、こころの病を持つ方の社会復帰と自立支援活動を推進するため、作業や様々な活動をするを目的としています。

<お問い合わせ>

NPO法人置賜のぞみ会  
フラワーほっと

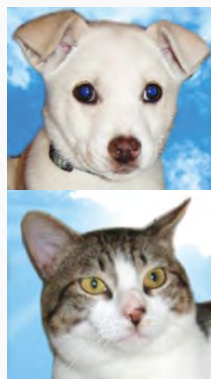
住所：長井市栄町1-1-1  
電話：0238-84-0996

## 知って得する情報



### 犬は正しく飼いましょう

- お住まいの市町に登録をして、毎年狂犬病予防注射を受けさせましょう。法律で義務付けられています。
- 鑑札と注射済票は首輪に着けておきましょう。迷子札も着けましょう。
- 放し飼いは絶対にやめましょう。県の条例で禁止されています。逃げられないように、首輪や金具の定期点検をしましょう。逃げたときは、保健所にすぐに連絡してください。
- 鳴き声が近所迷惑にならないように配慮しましょう。原因を見極めて対処しましょう。
- 散歩中や犬小屋の周りなどのふん尿の始末は必ず行いましょう。
- 最期まで愛情と責任を持って飼いましょう。



### 犬・猫をあなたの家族に迎えるまでの5STEP!



☎生活衛生課 0238-22-3750

### ワンちゃん・ネコちゃんの飼い主募集中です!

置賜保健所では、引き取りや迷子で収容した犬・猫の譲渡を行っています。

これまで、たくさんの方に「新しい飼い主」になっていただきましたが、犬・猫の引き取り依頼や迷子は後を絶たず、常に新しい飼い主さんを募集している状況です。犬・猫を飼いたい方、興味のある方はお気軽におたずねください。また、お知り合いにもご紹介をお願いします。

#### 【講習会のご案内】

日時：毎月第3木曜日 14:00～（約1時間）

場所：置賜保健所 分庁舎

（米沢市金池三丁目1-26）

※事前に電話でお申し込みください。

参加は無料です。

## 保健だより

### ★献血サマーキャンペーンのお知らせ★



現在、献血に協力して下さる若い人たちが減っており、山形県でもここ10年で大きく減少しました。

会場に遊びに来ていただけるだけでも大歓迎ですので、この機会に献血に触れてみませんか？

また、当日は骨髄バンクドナー登録説明会も併せて開催します。皆様のご来場、ご協力をお待ちしております。



今年も献血サマーキャンペーンを開催します!

置賜地域の学生も一緒にキャンペーンを盛り上げ、「かねたん」・「けんけつちゃん」も登場予定です!

日本赤十字社の救護服・ナース服を試着できるお子さん向け企画「なりきりキッズ体験」も同時開催予定です。



日時：8月14日（火）

受付時間9：30～16：00

会場：イオン米沢店 1階テレビ前広場

※キャンペーンの他、置賜地区の献血

日程は置賜保健所ホームページで

毎月更新しています。

☎保健企画課 0238-22-3872



## 親子わくわく食農体験バスツアー 「えだまめもいで、じんだんつくろう」 の参加者の募集について



えだまめの収穫や調理の体験を通して、農業や食について親子で一緒に考えてみませんか。

日時：9月8日（土） 8：30～13：30

集合場所：糠野目生涯学習センター  
（高島町福沢南9-2）

募集対象：5歳児（年長）とその保護者2名1組  
定員：16組32名

※応募者が多数の場合は抽選となります

参加費：1組あたり500円（材料代、保険料）

申込方法：次の事項を記載し、メール又はファックスで  
お申込みください。

お子様について：氏名（ふりがな）、性別、年齢、郵便  
番号、住所、アレルギーの有無と状況

保護者について：氏名、郵便番号、住所、電話番号、  
携帯電話番号（緊急の連絡先）

申込締切：8月24日（金）



えだまめをもいで



じんだんもちを  
つくろう！

申込・問合せ 農業振興課

電話 0238-26-6051 ファックス 0238-21-6941

メールによる申込方法は、おきたま食の応援団の  
ホームページの最新情報でご確認ください。

おきたま食の応援団

検索

ホームページのQRコード



## 第19回地域生活支援セミナーinおきたま 「はたらく・くらすを支える」 ～ 誰もが安心して働ける社会へ ～

障がい者の就労を支援するためのセミナーを毎年実施しております。

今年は、地元企業の方々や実際に就労している障がい者の方々のパネルディスカッションを予定しております。「はたらく」中で抱える、当事者・企業の様々な思いを広く知る機会となり、今後の障がい者雇用促進のために「安心して働くこと・支えていくこと」について考えていく場となりますよう、みなさんのご参加をお待ちしております。

日時：9月12日（水）13：00～16：00

場所：タスパークホテル（長井市館町北6-27）

内容：情報提供

○置賜圏域の障害者雇用について  
（米沢公共職業安定所）

パネルディスカッション

○「障がい者の就労を支える（仮題）  
～企業の立場より」

○「障がい者の就労を支える（仮題）  
～働く当事者の立場より」

参加費：無料

主催：置賜地域就労活動活性化協議会  
（事務局：地域保健福祉課）、山形労働局、  
置賜障害者就業・生活支援センター

申込・問合せ 地域保健福祉課 0238-26-6028



## イベント情報



### 「心の健康づくり講演会」を開催します

強いストレスや怒りの感情は、コントロール出来ないと他者だけでなく自分も傷つけてしまいますが、それらと上手く付き合うことができれば、円滑なコミュニケーションを取れるようになり、仕事や私生活での人間関係が上手くいくことがあります。ぜひこの機会に、ストレスや怒りとの付き合い方について学んでみませんか。

日時：9月14日（金）14：00～15：45

内容：

講演 「ストレスと上手く付き合おう  
～怒りのコントロール術について～」

講師 社会医療法人二本松会 かみのやま病院  
臨床心理科長 佐藤 秀実 氏

場所：置賜総合支庁 講堂

参加費：無料

申込み：9月7日（金）までお電話でお申込みください。

申込・問合せ 地域保健福祉課 0238-22-3015

### 平成30年度 山形県能楽の祭典

県内各地から各流派の能楽愛好者を米沢に迎え、置賜文化ホールの能舞台を会場に日頃の成果を上演形式で披露します。

また、置賜文化ホールを拠点に活動する「伝国の杜こども狂言クラブ」も和泉流狂言、小舞を披露する予定です。

入場無料となっています。ぜひご覧ください。

日時：9月9日（日）10：00時始曲

※終演予定 16：30分頃

場所：置賜文化ホール（米沢市丸の内1-2-1）

電話：0238-26-2666

参加費：無料（どなたでもご自由に入場いただけます。）

主催：（公財）米沢上杉文化振興財団、  
山形県能楽協会



問合せ 総務課連携支援室 0238-26-6019

## お知らせ

### 9月10日から16日は「自殺予防週間」です



いのち  
支える

置賜地域で平成28年に自殺で亡くなられた方は39人です。自殺の原因はひとつではなく、経済・生活・健康・家庭等の問題が複雑に絡み合っています。

自殺に至る直前、多くの方は「うつ病」等の精神疾患を発症していると言われ、病気により正しい判断ができない状態になっています。自殺予防のためには、早い段階で心の状態に気づく必要があります。

“眠れない”、“憂うつだ”、“好きなことが楽しめない”などの症状は心の不調のサインかもしれません。ひとりで悩まず、まずはご相談ください。置賜保健所では、保健師の他に精神科医による相談も行っています。

☎地域保健福祉課 0238-22-3015

もしもに備え ～お手軽防災のすすめ～ “ローリングストック”はじめよう！

7月の西日本豪雨災害では、ライフラインの停止、物流の停滞により飲食品等が手に入らない一方で、支援はすぐに届かない状況でした。災害は、いつでもどこで起きるかわかりません。そんなときに備え、自分のことは自分で守れるよう、必要なものを準備

しておくことが必要です。山形県では、最低3日分、推奨1週間分の食料と飲料水、生活必需品の備蓄を呼びかけています。

そこで、手軽に備蓄できる「ローリングストック」という手法をご紹介します。

ローリングストックとは、普段使う食料や日用品を多めに買って置き、古くなったものから使い、使った分を買い足すことで常に新しいものを保存しておくというものです。まずは、簡単・手軽に防災をはじめてみませんか。



☎総務課防災安全室 0238-26-6007

食肉衛生月間

食肉による食中毒防止のため、毎年9月を食肉衛生月間として、食肉の衛生的な取り扱いについて指導、啓発を行なっています。

食肉を原因とする食中毒は、病原大腸菌（O157、O111、O26など）が有名ですが、食肉にはカンピロバクター、サルモネラ属菌などの食中毒菌も付着している可能性があります。いずれの菌も加熱により死滅しますので、肉料理はよく加熱して食べるようにしましょう。



また、牛レバーの生食は禁止されましたが、どんな種類のどんな部位の肉でも生で食べると食中毒の危険があります。特に小学生以下のお子さん、高齢者、抵抗力の落ちている方は生の肉は食べないようにしましょう。ハンバーグ、鳥つくねなどの肉料理は、中心部まで十分加熱して食べてください。

☎生活衛生課 0238-22-3750

山形の家づくり利子補給 新制度の募集を開始します！



県では、住宅ローンの利子の一部を負担することで、県産木材を使用した質の高い住宅の建設や良質な中古住宅の取得を応援しています。

より使いやすく見直しを行った新制度の募集を、9月3日（月）から開始します。マイホームをお考えのみなさん、ぜひ利用をご検討ください。

－新制度のポイント－

- 支援額は10年間で最大約100万円
- 変動金利の住宅ローンも対象に
- 取扱金融機関を追加
- 対象となる住宅を追加



詳しくは

☎建築課 0238-35-9054

夏の省エネ県民運動実施中

県では、地球温暖化防止に向けた省エネ県民運動の一環として、次のとおり募集中です。

■夏の省エネ「川柳・標語」「ポスター」コンテスト

夏の省エネをテーマにした川柳・標語、省エネを呼びかけるポスターを募集します。

【募集期限】8月31日（金）

【募集対象】川柳・標語：県内にお住まいの方  
ポスター：県内の小・中学校に通う児童・生徒

■省エネ・再エネ・節電 家庭のアクション

家庭で実践している省エネ・節電の取組みを報告していただくと、抽選で賞品が当たります。できることから、みんなで省エネに取り組んでみましょう。

【報告期限】10月31日（水）

たくさんのご応募をお待ちしています。詳しくは県のHPをご覧ください。

☎環境課 0238-26-6033

「おきたま子育て応援ガイド2018年版」をご活用ください



この度、置賜地域みんなで子育て応援団では、これから子育てをされる方、現在子育てをされている方への情報誌として、主に置賜地域の子育てに関する相談窓口や施設案内のほか、子育てに役立つ情報をまとめた「おきたま子育て応援ガイド2018年版」を作成しましたのでご活用ください。

主に幼稚園や保育所、放課後児童クラブ等を通じて配布しておりますが、ご希望がございましたら置賜総合支庁子ども家庭支援課でも配布しておりますので、お声がけください。

☎置賜地域みんなで子育て応援団  
(事務局：子ども家庭支援課) 0238-26-6027

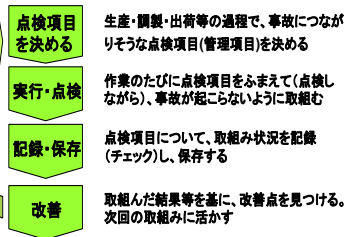
発行元

置賜総合支庁  
総務企画部総務課  
TEL 0238(26)6100  
FAX 0238(24)1402  
皆様のご意見、ご感想をお待ちしております。

いま・ここ・おきたま

GAPについてご存じですか？ GAP (Good Agricultural Practice) とは、農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続的な可能性を確保するための生産工程管理の取組みのことです。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックで調達される食材基準は、GAPを認証していることが要件となりました。県でもこの4月から、米と青果物を対象に、第三者である認証機関で審査を受ける「山形県版GAP第三者認証制度」の運用を始めました。生産者の方々には積極的に認証の取得に取り組み、安全で安心なおいしい県産農産物を国内外にPRしていただきたいと思います。(農業技術普及課)



GAPの取組み方(改善活動)